

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名： 病理解剖検体を用いた悪性神経膠腫終末期の病態解明』

研究機関名： 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者： 脳神経外科 職位・氏名： 助教・平井 希

### 【試料・情報の利用目的】

東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科では、悪性神経膠腫に対して当院で治療された患者さんの病理解剖検体を用いて、悪性神経膠腫終末期の病態を解明することを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、悪性神経膠腫患者さんへのより良い治療法の開発につながります。

### 【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

### 【研究に用いられる試料・情報】

試料： 病理解剖時に作成した組織標本

情報： 年齢、性別、発生部位、病理診断、分子診断、腫瘍径、治療内容（手術、化学療法、放射線治療）、合併症、転帰（無憎悪期間、全生存期間）

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

### 【試料・情報の利用を開始する予定日】

研究実施許可日から利用または提供を開始します。

### 【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大橋病院 病院長 渡邊 学

### 【試料・情報の取得方法】

対象者： 2007年1月1日～2025年12月31日までに東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科において悪性神経膠腫と診断され、治療を行い、その後にお亡くなりになり病理解剖を受けられた患者さん。（12症例）

方法： 病理解剖時に作成した病理標本を肉眼的又は顕微鏡的に評価し、診療録（カルテ）から抽出した生前のデータと併せて解析します。

- 一般的に病理解剖はご遺族または代諾者の同意を得た上で、患者さんがどのような原因、経過で亡くなったかを組織学的に評価すること、生前に受けられていた治療の効果を確かめることなどを目的として行われています。このような評価を行った後もご提供頂いた患者さんの標本は一定期間、東邦大学医療センター大橋病院病理診断科に保存され、倫理審査委員会で承認を得た研究に用いられることがあります。

**【研究組織】**

代表施設名： 東邦大学医療センター大橋病院 研究責任者： 平井 希 役職： 助教

**【利用する者の範囲】**

東邦大学医療センター大橋病院 研究責任者： 脳神経外科 助教 平井 希  
東邦大学医療センター大橋病院 共同研究者： 脳神経外科 教授 齋藤紀彦  
東邦大学医療センター大橋病院 共同研究者： 病理診断科 教授 高橋 啓  
東邦大学医療センター大橋病院 共同研究者： 脳神経外科 准教授 中山晴雄  
東邦大学医療センター大橋病院 共同研究者： 脳神経外科 講師 伊藤圭介  
東邦大学医療センター大橋病院 共同研究者： 脳神経外科 講師 林 盛人  
東邦大学医療センター大橋病院 共同研究者： 脳神経外科 講師 藤田 聡  
東邦大学医療センター大橋病院 共同研究者： 脳神経外科 助教 平元 侑  
東邦大学医療センター大橋病院 共同研究者： 脳神経外科 助教 佐藤 詳  
東邦大学医療センター大橋病院 共同研究者： 脳神経外科 院内助教 小屋原優輝

**【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】**

東邦大学医療センター大橋病院 病院長 渡邊 学

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2026年9月30日までに下記へご連絡ください。代諾者の方からのお問い合わせも受け付けております。代諾者の方の範囲は配偶者、親族、後見人、その他、原則として本人の意思を代弁できる者としてします。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

**【連絡先および担当者】**

東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科

職位・氏名： 助教・平井 希

電話： 03-3468-1251 内線： 7984